

沖縄市中心市街地活性化基本計画 新旧対照表 (傍線赤文字部分は変更箇所)

変 更 後					変 更 前				
4. 土地区画整理事業、市街地再開発事業、道路、公園、駐車場等の公共の用に供する施設の整備その他の市街地の整備改善のための事業に関する事項 [1] ~ [2] 略 (1) 略 (2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業					4. 土地区画整理事業、市街地再開発事業、道路、公園、駐車場等の公共の用に供する施設の整備その他の市街地の整備改善のための事業に関する事項 [1] ~ [2] 略 (1) 略 (2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業				
事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項	事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
○事業名 安慶田地区土地区画整理事業 ○内容 土地区画整理事業による幹線道路や生活道路等の整備 施行面積 8.7ha ○実施時期 H21~H30	沖縄市	○位置付け 商業地に隣接する老朽化した密集住宅地である安慶田地区において、多様な世帯に対応した住宅供給やコミュニティ(地域力)の再生を図る事業として位置付けている。 ○必要性 老朽密集住宅地の改善及び防災環境軸形成等を行うことで安心・安全な住環境が形成される。また、既存のコミュニティを維持しつつ、老朽密集住宅地の改善及び防災環境軸形成等を行い、安全・安心な住環境を形成し、街なか居住の促進を図るものであり、居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。 ※図略	○支援措置 <u>社会資本整備総合交付金</u> <u>(都市再生区画整理事業)</u> ○実施時期 <u>H22~H26</u>		<u>(2) ②から移設</u>				
○事業名 <u>中の町地区土地区画整理事業</u> ○内容 商業施設、交流施設、住宅、交通結節機能等整備の事業化推進に向けた調査 ○実施時期 <u>H24~H26</u>	沖縄市	○位置付け コザ文化が凝縮したまちそのものの雰囲気や資源として積極的に活用し、街路事業や都市再生区画整理事業を活用し、B地区における都市計画街路、C地区における防災安全道路や区画道路の整理等、都市基盤整備について当該事業で整理を行い、地区の再生を目指した計画策定を行う。 また、防災安全道路を地区内に配置することにより、コザゲー	○支援措置 <u>社会資本整備総合交付金</u> <u>(都市再生区画整理事業)</u> ○実施時期 <u>H24~H26</u>	都市再生区画整理事業の導入を想定し、地権者の合意形成を図る	<u>(2) ②から移設</u>				

			ト通りにおけるイベント時や休日のトランジットモール化に伴う、う回路として活用することで、まちのにぎわいと活性化を図る事業として位置付ける。									
			○必要性 都市再生区画整理事業の施工を行うことにより、建物の老朽化・密集解消や商業景観形成、狭小幅員道路・行き止まり道路の解消により回遊性の向上を図るため必要である。									
○事業名 山里第一地区市街地再開発事業 ○内容 まちなか居住等の推進のための第1種市街地再開発事業 区域面積 約1.3ha 施設面積 約19,600㎡ ○実施時期 H22~H26	沖繩市山里第一地区市街地再開発準備組合	○位置付け 多様な世帯に対応した住宅供給や社会福祉施設・医療施設などの立地促進によりコミュニティ（地域力）の再生を図る事業として位置付ける。 ○必要性 地域の生活拠点の核づくりを目指し、住宅棟、商業施設棟のほか、スポーツ施設やクリニックモール等、地域の生活利便性ならびに公益性の高い施設を整備することにより、街なか居住の促進を図るものであり、誰もが居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。 【事業予定】 平成22年度~23年度 事業調整、都市計画決定、事業認可 平成24年度 権利変換計画認可、実施設計 平成25年度 工事着工 平成26年度 工事完了（H26年10月竣工予定） ※図（略）	○支援措置 <u>社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業等）</u> ○実施時期 <u>H24~H26</u>									
									<u>(2) ②から移設</u>			

<p>○事業名 音の回廊事業（こどもの国線、<u>中央公園線他</u>）</p> <p>○内容 地方道路整備事業 <u>（こどもの国線、中央公園線他）</u></p> <p>○実施時期 H23～H26</p>	<p>沖縄市</p>	<p>○位置付け 音楽によるまちづくりを推進するために、まちそのものの雰囲気や資源として積極的に活用することでまちの効果的な回遊性確保に資する事業として位置付ける。</p> <p>○必要性 ミュージックタウン拠点と沖縄こどもの国を結ぶ市道（中央公園線、こどもの国線、こどもの国北側線）において、光や音の出るストリートファニチャーや遊具等を設置し、歩いてみたくなる歩行空間づくりを行う。併せて、関連社会資本整備事業に位置付けられる動物園舎整備やこどもの国野外ステージの改修工事を行うことで、ミュージックタウンと連携したイベントの実施などにより相互間の回遊性を高める事を実現する上で必要である。</p>	<p>○支援措置 <u>社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業と一体の関連社会資本整備事業）</u></p> <p>○実施期間 <u>H23～H26</u></p>			<p>(4) からの移設</p>					
<p>○事業名 音の回廊事業（中の町1号線、<u>グランド通り線他</u>）</p> <p>○内容 地方道路整備事業 <u>（中の町1号線、グランド通り線他）</u></p> <p>○実施時期 H22～H26</p>	<p>沖縄市</p>	<p>○位置付け 音楽によるまちづくりを推進するために、まちそのものの雰囲気や資源として積極的に活用することでまちの効果的な回遊性確保に資する事業として位置付ける。</p> <p>○必要性 ミュージックタウン拠点とコザ運動公園結ぶ市道（市道中の町1号線、市道グランド通り線）において、光によるライトアップや音楽を感じさせる道路舗装等を行うことで、歩いてみたくなる<u>歩行空間づくり</u>を行う。</p> <p>また、関連社会資本整備事業としてコザ運動公園内の野外ステージの改修工事を行うことにより、ミュージックタウン拠点と連携した音楽イベントを開催し、当該回廊が誘導路線となるように道路を整備する</p>	<p>○支援措置 <u>社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業と一体の関連社会資本整備事業）</u></p> <p>○実施期間 <u>H23～H26</u></p>			<p>(4) からの移設</p>					

		ことで、回遊性を高める事を実現する上で必要である。		
<p>○事業名 国道 330 号沿線景観整備事業</p> <p>○内容 交通ネットワーク基盤の整備拡充</p> <p>○実施時期 H23～H25</p>	沖縄市	<p>○位置付け コザ十字路周辺の国道交差点改良事業に伴う残地利用と隣接商店街のファサード整備として国道 330 号の沿道景観整備を行うものであり、国道拡幅工事と一体となった景観整備事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 中心市街地における商業力の低下に伴い、市民生活や行政運営に支障をきたしている。このような市民生活環境の向上、まちの再活性化への対応が求められている現状を踏まえ、住民との協働により策定した土地利用計画を基に、銀天街入口のファサード整備を行うことにより、本市の中心市街地の再活性化、市民活力の向上を図ることは、だれもが居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。</p>	<p>○支援措置 社会資本整備総合交付金 (道路事業(区画)と一体の効果促進事業)</p> <p>○実施時期 H23～H25</p>	

(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
--------------	------	-------------------	---------------	--------

新規追加				

(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
--------------	------	-------------------	---------------	--------

<p>○事業名 安慶田地区土地区画整理事業 【*再掲】</p> <p>○内容 土地区画整理事業による幹線道路や生活道路等の整備</p> <p>施行面積 8.7ha</p> <p>○実施時期 H21～H30</p>	<p>沖縄市</p>	<p>○位置付け 商業地に隣接する老朽化した密集住宅地である安慶田地区において、多様な世帯に対応した住宅供給やコミュニティ（地域力）の再生を図る事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 老朽密集住宅地の改善及び防災環境軸形成等を図ることで安心・安全な住環境が形成される。また、既存のコミュニティを維持しつつ、老朽密集住宅地の改善及び防災環境軸形成等を図り、安全・安心な住環境を形成し、街なか居住の促進を図るものであり、居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。</p> <p>※図略</p>	<p>○支援措置 <u>社会資本整備総合交付金（道路事業（区画））</u></p> <p>○実施時期 <u>H22～H26</u></p>		<p>○事業名 安慶田地区土地区画整理事業</p> <p>○内容 土地区画整理事業による幹線道路や生活道路等の整備</p> <p>施行面積 8.7ha</p> <p>○実施時期 H21～H30</p>	<p>沖縄市</p>	<p>○位置付け 商業地に隣接する老朽化した密集住宅地である安慶田地区において、多様な世帯に対応した住宅供給やコミュニティ（地域力）の再生を図る事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 老朽密集住宅地の改善及び防災環境軸形成等を図ることで安心・安全な住環境が形成される。また、既存のコミュニティを維持しつつ、老朽密集住宅地の改善及び防災環境軸形成等を図り、安全・安心な住環境を形成し、街なか居住の促進を図るものであり、居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。</p> <p>※図略</p>	<p>○支援措置 <u>土地区画整理事業</u></p> <p>○実施時期 <u>H22～H30（予定）</u></p>		
<p><u>(2)①に移設</u></p>					<p>○事業名 安慶田地区土地区画整理事業 【*再掲】</p> <p>○内容 土地区画整理事業による幹線道路や生活道路等の整備</p> <p>施行面積 8.7ha</p> <p>○実施時期 H21～H30</p>	<p>沖縄市</p>	<p>○位置付け 商業地に隣接する老朽化した密集住宅地である安慶田地区において、多様な世帯に対応した住宅供給やコミュニティ（地域力）の再生を図る事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 老朽密集住宅地の改善及び防災環境軸形成等を図ることで安心・安全な住環境が形成される。また、既存のコミュニティを維持しつつ、老朽密集住宅地の改善及び防災環境軸形成等を図り、安全・安心な住環境を形成し、街なか居住の促進を図るものであり、居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。</p> <p>※図略</p>	<p>○支援措置 <u>都市再生土地区画整理事業</u></p> <p>○実施時期 <u>H22～H30（予定）</u></p>		

<p><u>(2) ①に移設</u></p>					<p>○事業名 <u>中の町地区土地区画整理事業調査等事業</u></p> <p>○内容 商業施設、交流施設、住宅、交通結節機能等整備の事業化推進に向けた調査</p> <p>○実施時期 <u>H24 (予定)</u></p>	<p>沖縄市</p>	<p>○位置付け コザ文化が凝縮したまちそのものの雰囲気資源として積極的に活用し、街路事業や都市再生区画整理事業を活用し、B地区における都市計画街路、C地区における防災安全道路や区画道路の整理等、都市基盤整備について当該事業で整理を行い、地区の再生を目指した計画策定を行う。 また、防災安全道路を地区内に配置することにより、コザゲート通りにおけるイベント時や休日のトランジットモール化に伴う、う回路として活用することで、まちのにぎわいと活性化を図る事業として位置付ける。</p> <p>○必要性 都市再生区画整理事業の施工を行うことにより、建物の老朽化・密集解消や商業景観形成、狭小幅員道路・行き止まり道路の解消により回遊性の向上を図るため必要である。</p>	<p>○支援措置 <u>都市再生区画整理事業</u></p> <p>○実施時期 <u>H24 (予定)</u></p>	<p>都市再生区画整理事業の導入を想定し、地権者の合意形成を図る</p>
<p><u>(2) ①に移設</u></p>					<p>○事業名 山里第一地区市街地再開発事業</p> <p>○内容 まちなか居住等の推進のための第1種市街地再開発事業 区域面積 約1.3ha 施設面積 約19,600㎡</p> <p>○実施時期 H22～H26</p>	<p>沖縄市山里第一地区市街地再開発準備組合</p>	<p>○位置付け 多様な世帯に対応した住宅供給や社会福祉施設・医療施設などの立地促進によりコミュニティ（地域力）の再生を図る事業として位置付ける。</p> <p>○必要性 地域の生活拠点の核づくりを目指し、住宅棟、商業施設棟のほか、スポーツ施設やクリニックモール等、地域の生活利便性ならびに公益性の高い施設を整備することにより、街なか居住の促進を図るものであり、誰もが居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。</p> <p>【事業予定】</p>	<p>○支援措置 <u>市街地再開発事業</u></p> <p>○実施時期 <u>H22～H26</u></p>	

								平成 22 年度～23 年度 事業調整、都市計画決定、事業認可 平成 24 年度 権利変換計画認可、実施設計 平成 25 年度 工事着工 平成 26 年度 工事完了 (H26 年 10 月竣工予定) ※図 (略)				
<p>○事業名 <u>都市公園事業 (こどもの国公園)</u></p> <p>○内容 <u>市民の防災機能及び地域の核施設としての都市公園整備</u></p> <p>○実施時期 <u>H22～H26</u></p>	沖縄市	<p>○位置付け 世代を超えて受け継がれてきた貴重な自然環境を保全するとともにまちなかにおけるみどりの創出につなげていき動物の生態系や環境に配慮した都市公園づくりを進め、野鳥や昆虫が生息する市内有数な場所として、動物センターを中心に自然を体験できる環境教育プログラムを導入するなど、人と自然・動物とのふれあいをおして自然の成り立ちを学び、体験する施設づくりをすることで、まちの効果的な回遊性を確保する事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 こどもの国公園 (沖縄こども未来ゾーン) は、昭和 36 年 9 月に本市第一号の都市公園として計画、整備された近隣公園であるが、バリアフリー法や国土交通省策定の都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン、防災機能の強化など社会情勢の変化に対応しなくてはならない。このようなことをふまえ整備を推進していくことは誰もが居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。</p>	<p>○支援措置 <u>社会資本整備総合交付金 (都市公園等事業)</u></p> <p>○実施時期 <u>H22～H26</u></p>				<p>○事業名 <u>都市公園防災事業</u></p> <p>○内容 <u>都市公園整備 (こどもの国公園)</u></p> <p>○実施時期 <u>H21～H25</u></p>	沖縄市	<p>○位置付け 世代を超えて受け継がれてきた貴重な自然環境を保全するとともにまちなかにおけるみどりの創出につなげていき動物の生態系や環境に配慮した都市公園づくりを進め、野鳥や昆虫が生息する市内有数な場所として、動物センターを中心に自然を体験できる環境教育プログラムを導入するなど、人と自然・動物とのふれあいをおして自然の成り立ちを学び、体験する施設づくりをすることで、まちの効果的な回遊性を確保する事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 こどもの国公園 (沖縄こども未来ゾーン) は、昭和 36 年 9 月に本市第一号の都市公園として計画、整備された近隣公園であるが、バリアフリー法や国土交通省策定の都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン、防災機能の強化など社会情勢の変化に対応しなくてはならない。このようなことをふまえ整備を推進していくことは誰もが居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。</p>	<p>○支援措置 <u>都市公園事業</u></p> <p>○実施時期 <u>H21～H25</u></p>		

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>○事業名 <u>沖縄市景観計画策定事業</u></p> <p>○内容 地域資源を活かした街並み景観の創出</p> <p>○実施時期 <u>H21～H24</u></p>	沖縄市	<p>○位置付け コザ文化が凝縮した街そのものの雰囲気や資源として積極的に活用し、まちに効果的な回遊性を確保する。また、市民との協働による景観づくり(まちづくり)に向けた施策を実現化する事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 地域の実情や歴史などを考慮したゆるやかなまちづくりを進め、コザゲート通りとくすのき通りについて景観地区に指定し、魅力ある景観を保全・活用することでまちの活性化を図る。また、屋外広告物条例を県から権限移譲を受け、コザゲート通りについては規制緩和することで、さらにまちに魅力的な看板等を設置し、沖縄市らしい風景(景観)を保全・形成することは、居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。</p>	<p>○支援措置 風景づくり推進事業(景観計画の策定、住民意見の聴取・合意形成・周知・啓発等の活動)</p> <p>○実施時期 <u>H21～H24</u></p>	

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>○事業名 <u>景観調査事業</u></p> <p>○内容 地域資源を活かした街並み景観の創出</p> <p>○実施時期 <u>H21～H23</u></p>	沖縄市	<p>○位置付け コザ文化が凝縮した街そのものの雰囲気や資源として積極的に活用し、まちに効果的な回遊性を確保する。また、市民との協働による景観づくり(まちづくり)に向けた施策を実現化する事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 地域の実情や歴史などを考慮したゆるやかなまちづくりを進め、コザゲート通りとくすのき通りについて景観地区に指定し、魅力ある景観を保全・活用することでまちの活性化を図る。また、屋外広告物条例を県から権限移譲を受け、コザゲート通りについては規制緩和することで、さらにまちに魅力的な看板等を設置し、沖縄市らしい風景(景観)を保全・形成することは、居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。</p>	<p>○支援措置 風景づくり推進事業(景観計画の策定、住民意見の聴取・合意形成・周知・啓発等の活動)</p> <p>○実施時期 <u>H21～H23</u></p>	

(4) 国の支援措置がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>○事業名 国道 330 号拡幅沿線土地利用計画策定業務 (略)</p>	(略)	(略)	(略)	(略)
(2) ①に移設				

(4) 国の支援措置がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>○事業名 国道 330 号拡幅沿線土地利用計画策定業務 (略)</p>	(略)	(略)	(略)	(略)
<p>○事業名 音の回廊事業(こどもの国線、<u>中央公園線</u>)</p> <p>○内容 地方道路整備事業 <u>(こどもの国公園)</u></p>	沖縄市	<p>○位置付け 音楽によるまちづくりを推進するために、まちそのものの雰囲気や資源として積極的に活用することでまちの効果的な回遊性確保に資する事業として位置付ける。</p>		

						<p>○実施時期 H23～H26</p>		<p>○必要性 ミュージックタウン拠点と沖縄こどもの国を結ぶ市道(中央公園線、こどもの国線、こどもの国北側線)において、光や音の出るストリートファニチャーや遊具等を設置し、歩いてみたくなる歩行空間づくりを行う。併せて、関連社会資本整備事業に位置付けられる動物園舎整備やこどもの国野外ステージの改修工事を行うことで、ミュージックタウンと連携したイベントの実施などにより相互間の回遊性を高める事を実現する上で必要である。</p>		
(2) ①に移設						<p>○事業名 音の回廊事業(中の町1号線、<u>グランド通り線</u>)</p> <p>○内容 地方道路整備事業 <u>(中の町中通り線)</u></p> <p>○実施時期 H23～H26</p>	沖縄市	<p>○位置付け 音楽によるまちづくりを推進するために、まちそのものの雰囲気や資源として積極的に活用することでまちの効果的な回遊性確保に資する事業として位置付ける。</p> <p>○必要性 ミュージックタウン拠点とコザ運動公園結ぶ市道(市道中の町1号線、市道グランド通り線)において、光によるライトアップや音楽を感じさせる道路舗装等を行うことで、歩いてみたくなる<u>歩行空間の確保づくり</u>を行う。</p> <p>また、関連社会資本整備事業としてコザ運動公園内の野外ステージの改修工事を行うことにより、ミュージックタウン拠点と連携した音楽イベントを開催し、当該回廊が誘導路線となるように道路を整備することで、回遊性を高める事を実現する上で必要である。</p>		

5. 都市福利施設を整備する事業に関する事項

[1]～[2] 略

(1) 略

5. 都市福利施設を整備する事業に関する事項

[1]～[2] 略

(1) 略

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
○事業名 コリンザ再生事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
○事業名 コリンザ再生事業 【*再掲】 ○内容 大型空き店舗の改修による都市福利施設の整備 ○実施時期 <u>H23～H25</u>	沖縄市	○位置付け コリンザ再生事業は、現在、市が区分所有している複合商業施設「コリンザ」をコンバージョンし、既存の市民小劇場「あしびなー」に加え、市民ニーズが高く、利便性の向上が求められている図書館を移転・整備することにより、中心市街地における都市福利施設の充実・強化を図る。併せて商業集積や雇用促進施設などの業務機能を強化することにより、中心市街地におけるビジネス拠点を形成する事業として位置付けている。 ○必要性 特定中小商業集積施設であるコリンザ再生を行うコンバージョン事業や太陽光パネル設置による改修を行い、中心市街地の活性化に寄与する図書館等の都市福利施設の配置を行う事で当該施設の再生と、まちなかのにぎわいを創出するために必要である。	○支援措置 <u>社会資本整備総合交付金</u> <u>(暮らし・にぎわい再生事業(計画コーディネート支援))</u> ○実施時期 <u>H23</u>	
○事業名 コリンザ再生事業 【*再掲】 ○内容 大型空き店舗の改修による都市福利施設の整備 ○実施時期 <u>H23～H25</u>	沖縄市	○位置付け コリンザ再生事業は、現在、市が区分所有している複合商業施設「コリンザ」をコンバージョンし、既存の市民小劇場「あしびなー」に加え、市民ニーズが高く、利便性の向上が求められている図書館を移転・整備することにより、中心市街地における都市福利施設の充実・強化を図る。併せて商業集積や雇用促進施設などの業務機能を強化することにより、中	○支援措置 <u>社会資本整備総合交付金</u> <u>(暮らし・にぎわい再生事業)</u> ○実施時期 <u>H23～H25</u>	

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
○事業名 コリンザ再生事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
○事業名 コリンザ再生事業 【*再掲】 ○内容 大型空き店舗の改修による都市福利施設の整備 ○実施時期 <u>H21～H24</u>	沖縄市	○位置付け コリンザ再生事業は、現在、市が区分所有している複合商業施設「コリンザ」をコンバージョンし、既存の市民小劇場「あしびなー」に加え、市民ニーズが高く、利便性の向上が求められている図書館を移転・整備することにより、中心市街地における都市福利施設の充実・強化を図る。併せて商業集積や雇用促進施設などの業務機能を強化することにより、中心市街地におけるビジネス拠点を形成する事業として位置付けている。 ○必要性 特定中小商業集積施設であるコリンザ再生を行うコンバージョン事業や太陽光パネル設置による改修を行い、中心市街地の活性化に寄与する図書館等の都市福利施設の配置を行う事で当該施設の再生と、まちなかのにぎわいを創出するために必要である。	○支援措置 <u>暮らし・にぎわい再生事業(計画コーディネート支援)</u> ○実施時期 <u>H22</u>	
(4) から移設				

		<p>心市街地におけるビジネス拠点を形成する事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 特定中小商業集積施設であるコリンザ再生を行うコンバージョン事業や太陽光パネル設置による改修を行い、中心市街地の活性化に寄与する図書館等の都市福利施設の配置を行う事で当該施設の再生と、まちなかのぎわいを創出するために必要である。</p>		
--	--	---	--	--

(2) ② 略

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
○事業名 コザ運動公園体育施設整備事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
○事業名 市民会館改修事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
○事業名 コザ小学校校舎改築事業 (特別教室) (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
○事業名 (仮称) 社会福祉センター ・男女共同参画センター建設事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
<p>○事業名 沖繩市中心市街地就労等支援施設</p> <p>○内容 中心市街地における子育て世帯・高齢者等の就労活動支援及び就労者に対する子育て支援施設</p> <p>○実施期間 H23～</p>	沖繩市	<p>○位置付け 雇用情勢の厳しい若年者等の就労支援をはじめ、子育てや高齢者への支援等をワンストップで展開することにより、市民生活の安定・安心や地域経済の活性化を図る事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 中心市街地において就労支援および子育て支援施設を配置することにより、中心市街地</p>	<p>○支援措置 緊急雇用創出事業（重点分野）</p> <p>○実施期間 H23</p>	

--	--	--	--	--

(2) ② 略

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
○事業名 コザ運動公園体育施設整備事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
○事業名 市民会館改修事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
○事業名 コザ小学校校舎改築事業 (特別教室) (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
○事業名 (仮称) 社会福祉センター ・男女共同参画センター建設事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
新規追加				

における都市福利施設の充実と周辺商店街へのにぎわいの創出に寄与する施設として必要である。

(4) 国の支援措置がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
(2) ①に移設				

6. 公営住宅等を整備する事業、中心市街地共同住宅供給事業その他の住宅の供給のための事業及び当該事業と一体として行う居住環境の向上のための事業等に関する事項

[1] ~ [2] 略

(1) 略

(4) 国の支援措置がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>○事業名 コリンザ再生事業 【*再掲】</p> <p>○内容 大型空き店舗の改修による都市福利施設の整備</p> <p>○実施時期 H21~H24</p>		<p>○位置付け コリンザ再生事業は、現在、市が区分所有している複合商業施設「コリンザ」をコンバージョンし、既存の市民小劇場「あしびなー」に加え、市民ニーズが高く、利便性の向上が求められている図書館を移転・整備することにより、中心市街地における都市福利施設の充実・強化を図る。併せて商業集積や雇用促進施設などの業務機能を強化することにより、中心市街地におけるビジネス拠点を形成する事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 特定中小商業集積施設であるコリンザ再生を行うコンバージョン事業や太陽光パネル設置による改修を行い、中心市街地の活性化に寄与する図書館等の都市福利施設の配置を行う事で当該施設の再生と、まちなかのにぎわいを創出するために必要である。</p>		

6. 公営住宅等を整備する事業、中心市街地共同住宅供給事業その他の住宅の供給のための事業及び当該事業と一体として行う居住環境の向上のための事業等に関する事項

[1] ~ [2] 略

(1) 略

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>○事業名 安慶田地区土地区画整理事業 【*再掲】</p> <p>○内容 土地区画整理事業による幹線道路や生活道路等の整備</p> <p>施行面積 8.7ha</p> <p>○実施時期 H21～H30</p>	沖繩市	<p>○位置付け 商業地に隣接する老朽化した密集住宅地である安慶田地区において、多様な世帯に対応した住宅供給やコミュニティ（地域力）の再生を図る事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 老朽密集住宅地の改善及び防災環境軸形成等を行うことで安心・安全な住環境が形成される。また、既存のコミュニティを維持しつつ、老朽密集住宅地の改善及び防災環境軸形成等を行い、安全・安心な住環境を形成し、街なか居住の促進を図るものであり、居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。</p> <p>※図略</p>	<p>○支援措置 <u>社会資本整備総合交付金</u> <u>（都市再生区画整理事業）</u></p> <p>○実施時期 <u>H22～H26</u></p>	
<p>○事業名 山里第一地区市街地再開発事業 【*再掲】</p> <p>○内容 まちなか居住等の推進のための第1種市街地再開発事業 区域面積 約1.3ha 施設面積 約19,600㎡</p> <p>○実施時期 H22～H26</p>	沖繩市山里第一地区市街地再開発準備組合	<p>○位置付け 多様な世帯に対応した住宅供給や社会福祉施設・医療施設などの立地促進によりコミュニティ（地域力）の再生を図る事業として位置付ける。</p> <p>○必要性 地域の生活拠点の核づくりを目指し、住宅棟、商業施設棟のほか、スポーツ施設やクリニックモール等、地域の生活利便性ならびに公益性の高い施設を整備することにより、街なか居住の促進を図るものであり、誰もが居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。</p>	<p>○支援措置 <u>社会資本整備総合交付金</u> <u>（市街地再開発事業等）</u></p> <p>○実施時期 <u>H24～H26</u></p>	

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<u>(2) ②から移設</u>				
<u>(2) ②から移設</u>				

		<p>【事業予定】 平成 22 年度～23 年度 事業調整、都市計画決定、事業認可 平成 24 年度 権利変換計画認可、実施設計 平成 25 年度 工事着工 平成 26 年度 工事完了 (H26 年 10 月竣工予定) ※図 (略)</p>												
<p>○事業名 <u>沖縄市中心市街地定住促進事業</u></p> <p>○内容 <u>中心市街地の定住促進を図るため、家賃補助等を実施し、まちなか居住の促進を図る。</u></p> <p>○実施期間 <u>H23～H26</u></p>	<p>沖縄市</p>	<p>○位置付け <u>まちなかにおける定住促進を行うことにより、既存ストックの活用と都市インフラ整備の負担軽減を図るとともに、コンパクトで住みやすいまちを実現するための事業として位置付けている。</u></p> <p>○必要性 <u>まちなか居住の定住促進を図るために、中心市街地への転入を促進するため、インセンティブとして家賃補助等を行うことにより、住む人目線による良好な生活空間の創出を図る上で必要な事業である。</u></p>	<p>○支援措置 <u>社会資本整備総合交付金 (暮らし・にぎわい再生事業と一体の効果促進事業)</u></p> <p>○実施期間 <u>H23～H26</u></p>											

新規追加

(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>○事業名 安慶田地区土地区画整理事業 【*再掲】</p> <p>○内容 土地区画整理事業による幹線道路や生活道路等の整備</p> <p>施行面積 8.7ha</p> <p>○実施時期 H21～H30</p>	沖縄市	<p>○位置付け 商業地に隣接する老朽化した密集住宅地である安慶田地区において、多様な世帯に対応した住宅供給やコミュニティ（地域力）の再生を図る事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 老朽密集住宅地の改善及び防災環境軸形成等を図ることで安心・安全な住環境が形成される。また、既存のコミュニティを維持しつつ、老朽密集住宅地の改善及び防災環境軸形成等を図り、安全・安心な住環境を形成し、街なか居住の促進を図るものであり、居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。</p> <p>※図略</p>	<p>○支援措置 <u>社会資本整備総合交付金</u> <u>(道路事業(区画))</u></p> <p>○実施時期 <u>H22～H26</u></p>	

(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>○事業名 安慶田地区土地区画整理事業 【*再掲】</p> <p>○内容 土地区画整理事業による幹線道路や生活道路等の整備</p> <p>施行面積 8.7ha</p> <p>○実施時期 H21～H30</p>	沖縄市	<p>○位置付け 商業地に隣接する老朽化した密集住宅地である安慶田地区において、多様な世帯に対応した住宅供給やコミュニティ（地域力）の再生を図る事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 老朽密集住宅地の改善及び防災環境軸形成等を図ることで安心・安全な住環境が形成される。また、既存のコミュニティを維持しつつ、老朽密集住宅地の改善及び防災環境軸形成等を図り、安全・安心な住環境を形成し、街なか居住の促進を図るものであり、居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。</p> <p>※図略</p>	<p>○支援措置 <u>土地区画整理事業</u></p> <p>○実施時期 <u>H22～H30</u> <u>(予定)</u></p>	

<p><u>(2) ①に移設</u></p>					<p>○事業名 安慶田地区土地区画整理事業 【*再掲】</p> <p>○内容 土地区画整理事業による幹線道路や生活道路等の整備</p> <p>施行面積 8.7ha</p> <p>○実施時期 H21～H30</p>	<p>沖縄市</p>	<p>○位置付け 商業地に隣接する老朽化した密集住宅地である安慶田地区において、多様な世帯に対応した住宅供給やコミュニティ（地域力）の再生を図る事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 老朽密集住宅地の改善及び防災環境軸形成等を図ることで安心・安全な住環境が形成される。また、既存のコミュニティを維持しつつ、老朽密集住宅地の改善及び防災環境軸形成等を図り、安全・安心な住環境を形成し、街なか居住の促進を図るものであり、居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。</p> <p>※図略</p>	<p>○支援措置 <u>都市再生土地区画整理事業</u></p> <p>○実施時期 <u>H22～H30</u> <u>(予定)</u></p>	
<p><u>(2) ①に移設</u></p>					<p>○事業名 山里第一地区市街地再開発事業 【*再掲】</p> <p>○内容 まちなか居住等の推進のための第1種市街地再開発事業</p> <p>区域面積 約1.3ha 施設面積 約19,600㎡</p> <p>○実施時期 H22～H26</p>	<p>沖縄市山里第一地区市街地再開発準備組合</p>	<p>○位置付け 多様な世帯に対応した住宅供給や社会福祉施設・医療施設などの立地促進によりコミュニティ（地域力）の再生を図る事業として位置付ける。</p> <p>○必要性 地域の生活拠点の核づくりを目指し、住宅棟、商業施設棟のほか、スポーツ施設やクリニックモール等、地域の生活利便性ならびに公益性の高い施設を整備することにより、街なか居住の促進を図るものであり、誰もが居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。</p> <p>【事業予定】 平成22年度～23年度 事業調整、都市計画決定、事業認可</p>	<p>○支援措置 <u>市街地再開発事業</u></p> <p>○実施時期 <u>H22～H26</u></p>	

<p>○事業名 安慶田市営住宅建替え事業</p> <p>○内容 市施工の公営住宅建替事業</p> <p>○実施時期 H24～H29</p>	沖繩市	<p>○位置付け 多様な世帯に対する住宅供給や社会福祉施設等の併設によりコミュニティ（地域力）の再生を図る事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 建築後 40 余年が経過し老朽化が著しい市営安慶田団地を建替え、市民の安全確保及び住宅困窮者に対するセーフティネットとしての役割を果たすものであり、誰もが居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。</p>	<p>○支援措置 <u>社会資本整備総合交付金</u> <u>（地域住宅計画に基づく事業）</u></p> <p>○実施時期 H24～H29</p>	

(3) 略

(4) 略

7. 中小小売商業高度化事業、特定商業施設等整備事業その他の商業の活性化のための事業及び措置に関する事項

[1]～[2] 略

(1) 略

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
--------------	------	-------------------	---------------	--------

		平成 24 年度 権利変換計画認可、実施設計 平成 25 年度 工事着工 平成 26 年度 工事完了（H26 年 10 月竣工予定） ※図（略）		
<p>○事業名 安慶田市営住宅建替え事業</p> <p>○内容 市施工の公営住宅建替事業</p> <p>○実施時期 H24～H29</p>	沖繩市	<p>○位置付け 多様な世帯に対する住宅供給や社会福祉施設等の併設によりコミュニティ（地域力）の再生を図る事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 建築後 40 余年が経過し老朽化が著しい市営安慶田団地を建替え、市民の安全確保及び住宅困窮者に対するセーフティネットとしての役割を果たすものであり、誰もが居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。</p>	<p>○支援措置 <u>地域住宅交付金</u></p> <p>○実施時期 H24～H29</p>	

(3) 略

(4) 略

7. 中小小売商業高度化事業、特定商業施設等整備事業その他の商業の活性化のための事業及び措置に関する事項

[1]～[2] 略

(1) 略

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
--------------	------	-------------------	---------------	--------

<p>○事業名 胡屋地区リノベーション事業</p> <p>○内容 空き店舗を活用したチャレンジショップ等の設置、運営</p> <p>○実施時期 H22～</p>	NPO法人 コザまち社 中	<p>○位置付け 胡屋地区リノベーション事業では、商環境の悪循環の原因となっている長期空き店舗物件を改修し、公共的な施設やチャレンジショップの機能を再配置することで、生活の中の商店街を提案し、まちのイメージアップにつながる事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 長期空き店舗を改修し、<u>コミュニティ施設や新規商業者向けのチャレンジショップ</u>を設置、運営することで商店街の活性化を図り、まちのイメージアップを図り、にぎわいを創出するために必要である。</p>	<p>○支援措置 戦略的中心市街地商業等活性化支援事業費補助金</p> <p>○実施時期 H22～H24</p>		<p>○事業名 胡屋地区リノベーション事業</p> <p>○内容 空き店舗を活用したチャレンジショップ等の設置、運営</p> <p>○実施時期 H22～</p>	NPO法人 コザまち社 中	<p>○位置付け 胡屋地区リノベーション事業では、商環境の悪循環の原因となっている長期空き店舗物件を改修し、公共的な施設やチャレンジショップの機能を再配置することで、生活の中の商店街を提案し、まちのイメージアップにつながる事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 長期空き店舗を改修し、<u>子育て支援施設や新規商業者向けのチャレンジショップ</u>を設置、運営することで商店街の活性化を図り、まちのイメージアップを図り、にぎわいを創出するために必要である。</p>	<p>○支援措置 戦略的中心市街地商業等活性化支援事業費補助金</p> <p>○実施時期 H22～H24</p>	
<p>○事業名 プロムナードコンサート事業 (略)</p>	(略)	(略)	(略)	(略)	<p>○事業名 プロムナードコンサート事業 (略)</p>	(略)	(略)	(略)	(略)
<p>○事業名 ミュージックタウン音市場事業 (略)</p>	(略)	(略)	(略)	(略)	<p>○事業名 ミュージックタウン音市場事業 (略)</p>	(略)	(略)	(略)	(略)
<p>○事業名 ミュージックタウン推進事業(音のページェント事業) (略)</p>	(略)	(略)	(略)	(略)	<p>○事業名 ミュージックタウン推進事業(音のページェント事業) (略)</p>	(略)	(略)	(略)	(略)
<p>○事業名 ミュージックタウン推進事業(コンテンツプロデュース事業) (略)</p>	(略)	(略)	(略)	(略)	<p>○事業名 ミュージックタウン推進事業(コンテンツプロデュース事業) (略)</p>	(略)	(略)	(略)	(略)
<p>○事業名 食とアートと交流の街づくり事業 (略)</p>	(略)	(略)	(略)	(略)	<p>○事業名 食とアートと交流の街づくり事業 (略)</p>	(略)	(略)	(略)	(略)
<p>○事業名 商店街再生チャレンジショップ事業 (略)</p>	(略)	(略)	(略)	(略)	<p>○事業名 商店街再生チャレンジショップ事業 (略)</p>	(略)	(略)	(略)	(略)

○事業名 商店街賑わい創出事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)	○事業名 商店街賑わい創出事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
○事業名 銀天街まつり (略)	(略)	(略)	(略)	(略)	○事業名 銀天街まつり (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
○事業名 沖縄市ファッションタウン 推進事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)	○事業名 沖縄市ファッションタウン 推進事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
○事業名 エイサーのまち推進事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)	○事業名 エイサーのまち推進事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
○事業名 沖縄全島エイサーまつり (略)	(略)	(略)	(略)	(略)	○事業名 沖縄全島エイサーまつり (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
○事業名 ピースフルラブ・ロックフ ェスティバル (略)	(略)	(略)	(略)	(略)	○事業名 ピースフルラブ・ロックフ ェスティバル (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
○事業名 沖縄国際カーニバル (略)	(略)	(略)	(略)	(略)	○事業名 沖縄国際カーニバル (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
○事業名 工芸による街づくり事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)	○事業名 工芸による街づくり事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
○事業名 中心市街地活性化支援事業 ○内容 タウンマネージャーの導入 コザ講座(商人塾・創業塾) の開催 ○実施時期 H20～	沖縄市	○位置付け 商店街に不足している機能 として、活性化対策を展開・実 施・支援する人材があげられ る。そのような中、商店街の組 織力強化とともに店舗の個性 化。コンセプトの明確化を図り ながら活用・実践の場を伴う人 材育成につなげていく事業と して位置付けている。 ○必要性 中心商店街は、中小零細企業 が多く、商店街の経営基盤も脆 弱なものとなっていることから、市と商店街との調整役を担 うタウンマネージャーを導入 し、各商店街が抱える課題解決 に向けた指導助言を行うと共に、戦略事業の展開・実施・支 援を行ない、商店街の賑わいづ	○支援措置 <u>中心市街地活性 化ソフト事業</u> ○実施時期 <u>H23～H26</u>		(4) から移設				

		くり、地域活性化のための人づくりを実現する上で必要である。									
<p>○事業名 沖縄市戦後文化資料等展示事業</p> <p>○内容 資料展示、歴史・文化講座（講演会）、研究叢書の発刊等</p> <p>○実施時期 H17～</p>	沖縄市	<p>○位置付け コザ文化が凝縮したまちそのものの雰囲気や資源として積極的に展開するために空き店舗を活用し、情報発信を行うことでまちの効果的な回遊性を図る事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 空き店舗を活用し設置した沖縄市戦後文化資料等展示室（ヒストリート）を中心に沖縄戦後文化の情報発信を行い、街なかへの誘客を図るとともに、本市の歴史や文化に関する市民の学習機会を拡充するものであり、街なかでのにぎわいづくり、人づくりを実現する上で必要である。</p>	<p>○支援措置 <u>中心市街地活性化ソフト事業</u></p> <p>○実施期間 <u>H23～H26</u></p>			(4) から移設					
<p>○事業名 こどものまち推進事業</p> <p>○内容 沖縄こども未来ゾーンを拠点とした、こどものまち推進事業</p> <p>○実施時期 <u>H20～</u></p>	沖縄市	<p>○位置付け こどもたちが元気に夢に向かってたくましく育つ環境をつくることを目的に、こどもを核とした施策を展開、こども文化を発信していくとともに、こどもたちを支える人材を育成し、こどものまちを推進していくための人材の活用・実践の場を創出する事業として位置付けられている。</p> <p>○必要性 こどもたちにやさしいまちづくりを進める上で、コミュニティ（地域力）の再生に取り組むために、事業の柱として、①「ネットワークづくり」、②「人づくり」、③「場づくり」を展</p>	<p>○支援措置 <u>中心市街地活性化ソフト事業</u></p> <p>○実施時期 <u>H23～H26</u></p>			(4) から移設					

		<p>開していくものであり、核家族化・都市化現象が進行するなかで、子どもたちを見守り育ていく地域社会を構築していく上で必要である。</p> <p>*市民との協働を重視しながら、沖縄子ども未来ゾーンを拠点に、子どものまちを推進していく。</p> <p>*子どものまち宣言については、沖縄市活性化100人委員会子どものまち宣言部会によって宣言草案が作成された。</p>									
<p><u>○事業名</u> プロムナードコンサート 支援事業</p> <p><u>○内容</u> 音楽によるまちづくりをPRするため沖縄商工会議所が実施するコンサート事業を支援する。</p> <p><u>○実施時期</u> H23～H26</p>	<p>沖縄市</p>	<p><u>○位置付け</u> 沖縄市の地域資源である音楽文化を活用した中心市街地におけるまちなかコンサートを開催し、地域の認知度を高めコザへの誘客を促し、地域の活性化と文化力向上のための支援事業として位置付けられている。</p> <p><u>○必要性</u> 沖縄市の小・中・高校の吹奏楽については、コンクールにおいて全国大会へ出場するなど非常にレベルが高い。また、中心市街地には、ライブハウス等が多数存在し、本市出身のミュージシャンが活躍している。このような地域資源を最大限活かし、プロムナードコンサート事業を実施し、中心市街地の商店街等の活性化とにぎわいの創出、音楽に係る人材育成、音楽文化の振興を図るために必要である。</p>	<p><u>○支援措置</u> 中心市街地活性化ソフト事業</p> <p><u>○実施時期</u> H23～H26</p>			<p>新規追加</p>					

<p>○事業名 <u>中心市街地駐車場利用促進事業</u></p> <p>○内容 <u>中心商店街における駐車場利用促進のために一定時間利用券を配付する事業</u></p> <p>○実施期間 <u>H23</u></p>	<p>沖縄市</p>	<p>○位置付け <u>中心市街地における商業機能の再生を目指すとともに、中心市街地における民間駐車場の利用促進を図り、商店街のにぎわい創出に寄与する事業として位置付けている。</u></p> <p>○必要性 <u>中心市街地に誘客を図るため、商店街利用者を対象として一定時間の無料利用券を配布し、民間駐車場の利用を促すことにより、商店街のにぎわい創出と商店街周辺に駐車場が多くあることを広く認知させるために必要である。</u></p>	<p>○支援措置 <u>中心市街地活性化ソフト事業</u></p> <p>○実施時期 <u>H23</u></p>			<p>新規追加</p>					
<p>○事業名 <u>沖縄市中心市街地産業集積支援事業</u></p> <p>○内容 <u>中心市街地への産業集積を図るため民間施設賃貸補助や集積支援などの補助を行う。</u></p> <p>○実施期間 <u>H23～</u></p>	<p>沖縄市</p>	<p>○位置付け <u>中心市街地における雇用創出および産業振興を図ることを目的とし、それによる周辺地域への波及効果とにぎわいを創出する事業として位置付けている。</u></p> <p>○必要性 <u>中心市街地における雇用機会の創出と個人起業家の起業機会を創出するとともに、中心市街地に産業集積を図ることにより、まちのにぎわい創出と中心市街地の再生を行うための事業として必要である。</u></p>	<p>○支援措置 <u>中心市街地活性化ソフト事業</u></p> <p>○実施時期 <u>H23～H26</u></p>			<p>新規追加</p>					

<p>○事業名 自主文化事業(芸能公演事業支援)</p> <p>○内容 人材の育成・発掘と中心市街地への集客促進、にぎわい創出に寄与する芸能公演への支援事業</p> <p>○実施期間 H23～</p>	<p>沖縄市</p>	<p>○位置付け 本市の文化事業の課題である地元の文化事業に係る人材育成、人材活用等の課題解決と琉球舞踊などの伝統芸能を活かした文化による市の活性化を図る芸能公演支援として位置付けている。</p> <p>○必要性 これまでキジムナーフェスタにおいて海外からの招聘作品が多く、地元の人材を活用した地元劇場からの公演がないことから、豊富にある地域資源の活用がなされていなかったため、今後の文化事業の推進として、中堅および若手舞踊家の育成、さらには制作や演出、舞台スタッフ等の裏方の人材育成・発掘にもつながる文化事業の発展に大きく貢献する事業として必要である。</p>	<p>○支援措置 中心市街地活性化ソフト事業</p> <p>○実施時期 H23～H26</p>			<p>新規追加</p>					
<p>○事業名 沖縄市中心市街地循環バス事業</p> <p>○内容 ミュージックタウンとこどもの国、コザ運動公園の回遊性を高めるための循環バス事業</p> <p>○実施時期 H23～</p>	<p>沖縄市</p>	<p>○位置付け 中心市街地の中心拠点となる胡屋地区において、コザ運動公園、市民会館、こどもの国及びミュージックタウンを結ぶ交通機能として、循環バス有料化・無料化および運行主体の検討を含めた実証実験を行い、中心部の回遊性を高める事業として位置付ける。</p> <p>○必要性 循環バスには、沖縄市の中心地の飲食店やライブハウスなどの情報提供及びこどもの国の琉球弧の動物の資料展示やエイサーパナーの展示など本市の持つ地域文化・芸能等の魅力を発信し、来街者・市民に対する情報発信機能と中心市街地への回遊性を誘導する事業として必要である。</p>	<p>○支援措置 社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業と一体の効果促進事業)</p> <p>○実施時期 H23～H26</p>			<p>新規追加</p>					

(2) ② 略

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
○事業名 音楽によるまちづくり広報支援事業 (Music info team) (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
○事業名 中心市街地情報発信支援事業 (コサ ^レ インフォメーションセンター) (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
○事業名 エイサー資源活用事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
○事業名 中心市街地事業活性化推進体制支援事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
○事業名 沖縄市中心市街地循環コミュニティバス事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
○事業名 沖縄市地域おこし協力隊事業 【*再掲】 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
○事業名 自主文化事業 (キジムナーフェスタ) ○内容 「創る・観る・育てる」を三本の柱として事業を展開 ○実施時期 H18～	<u>沖縄市・キジムナーフェスタ実行委員会</u>	○位置付け こどもを核とした施策を展開し、こども文化を発信するとともに国際文化観光都市の未来を担う人材育成に向けた活用・実践の場としての事業として位置付けている。 ○必要性 「創る・観る・育てる」を三本の柱として、国際児童・青少年演劇フェスティバル沖縄 (キジムナーフェスタ) を行うものであり、文化活動を通じた人づくりを実現する上で必要である。	○支援措置 <u>優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業</u> ○実施時期 <u>H23～</u>	

(2) ② 略

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
○事業名 音楽によるまちづくり広報支援事業 (Music info team) (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
○事業名 中心市街地情報発信支援事業 (コサ ^レ インフォメーションセンター) (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
○事業名 エイサー資源活用事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
○事業名 中心市街地事業活性化推進体制支援事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
○事業名 沖縄市中心市街地循環コミュニティバス事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
○事業名 沖縄市地域おこし協力隊事業 【*再掲】 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
○事業名 自主文化事業 (キジムナーフェスタ) ○内容 「創る・観る・育てる」を三本の柱として事業を展開 ○実施時期 H18～	<u>沖縄市・キジムナーフェスタ実行委員会</u> <u>あしびなー自主事業実行委員会</u>	○位置付け こどもを核とした施策を展開し、こども文化を発信するとともに国際文化観光都市の未来を担う人材育成に向けた活用・実践の場としての事業として位置付けている。 ○必要性 「創る・観る・育てる」を三本の柱として、国際児童・青少年演劇フェスティバル沖縄 (キジムナーフェスタ) を行うものであり、文化活動を通じた人づくりを実現する上で必要である。	○支援措置 <u>「文化芸術による創造のまち」支援事業</u> ○実施時期 <u>H18～</u>	

<p>○事業名 自主文化事業（<u>若手芸能公演、三線・演劇・曲作りワークショップ</u>）</p> <p>○内容 「創る・観る・育てる」を三本の柱として事業を展開</p> <p>○実施時期 S61～</p>	<p><u>沖縄市</u></p>	<p>○位置付け コザ文化が凝縮したまちそのものの雰囲気や資源として積極的に活用することなどにより市民一人ひとりが、特に次世代を担う子どもたちが国際文化観光都市の未来の担い手であるという自覚を持ち、主体的に文化活動に参加する環境（活用・実践の場を伴う人材育成）を作るための事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 「創る・観る・育てる」を三本の柱として、<u>若手芸能公演や三線等ワークショップ、</u>その他文化事業を行うものであり、文化活動を通じた人づくりを実現する上で必要である。</p>	<p>○支援措置 <u>優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業</u></p> <p>○実施時期 <u>H23～</u></p>		<p>○事業名 自主文化事業（<u>あしびなー劇場、こども三線学級、ランチタイムコンサート</u>）</p> <p>○内容 「創る・観る・育てる」を三本の柱として事業を展開</p> <p>○実施時期 S61～</p>	<p><u>沖縄市・あしびなー自主事業実行委員会</u></p>	<p>○位置付け コザ文化が凝縮したまちそのものの雰囲気や資源として積極的に活用することなどにより市民一人ひとりが、特に次世代を担う子どもたちが国際文化観光都市の未来の担い手であるという自覚を持ち、主体的に文化活動に参加する環境（活用・実践の場を伴う人材育成）を作るための事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 「創る・観る・育てる」を三本の柱として、<u>あしびなー劇場、こども三線学級、</u>その他文化事業を行うものであり、文化活動を通じた人づくりを実現する上で必要である。</p>	<p>○支援措置 <u>「文化芸術による創造のまち」支援事業</u></p> <p>○実施時期 <u>H18～</u></p>		
<p>○事業名 地域資源活用型人材育成事業 (略)</p>	<p>(略)</p>	<p>(略)</p>	<p>(略)</p>	<p>()</p>	<p>○事業名 地域資源活用型人材育成事業 (略)</p>	<p>(略)</p>	<p>(略)</p>	<p>(略)</p>	<p>(略)</p>	<p>(略)</p>
<p>○事業名 <u>パークアベニュー・リノベーション事業</u></p> <p>○内容 <u>空き店舗を活用した就労支援施設等の配置</u></p> <p>○実施期間 <u>H22～</u></p>	<p><u>NPO 法人コザまち社中</u></p>	<p>○位置付け <u>商店街において商環境の悪循環の原因となっている長期空き店舗を改修し、公共的な施設等を配置することでにぎわいの創出と空き店舗解消への波及に寄与する事業として位置付けている。</u></p> <p>○必要性 <u>まちなかに子育て支援施設や若年者から高齢者までの就労支援を行う施設等を商店街に配置することで、まちのにぎわいと商店街の活性化を図るために必要である。</u></p>	<p>○支援措置 <u>地域商業活性化事業</u></p> <p>○実施期間 <u>H22</u></p>		<p>新規追加</p>					

<p><u>○事業名</u> コザマップ事業</p> <p><u>○内容</u> ICTを活用した情報発信事業</p> <p><u>○実施期間</u> H22～</p>	<p>コザ商店街 連合会</p>	<p><u>○位置付け</u> 中心市街地および商店街における情報を携帯端末で閲覧可能なアプリケーションを開発することにより、リアルタイムな情報を来街者に発信するための事業。</p> <p><u>○必要性</u> これまでの紙媒体による情報発信については、公的な案内所でしか設置や配布がなされておらず、また、多くの欠点があり、携帯端末を活用した広範囲な情報発信を行うことで来街者の利便性の向上とタイムリーな情報提供を行うことができ、来街者の回遊性と商店街のにぎわいを創出するために必要である。</p>	<p><u>○支援措置</u> 地域商業活性化事業</p> <p><u>○実施期間</u> H22</p>			新規追加					
<p><u>○事業名</u> まちづくりフェスタ事業</p> <p><u>○内容</u> 既存イベントの連携強化を図るための事業</p> <p><u>○実施期間</u> H22</p>	<p>コザ商店街 連合会</p>	<p><u>○位置付け</u> コザ地域の特性である音楽と国際性を活かし、個別に開催してきたイベントを集約し、地域と関係団体等が連携し、開催する事業。</p> <p><u>○必要性</u> これまで、継続してきた個別イベントを集約して実施することにより、イベントとしての幅を持たせ、来街者に対してのプロモーション力の向上や商店街へのさらなる集客の拡大、来街者の回遊性およびにぎわいの創出に必要である。</p>	<p><u>○支援措置</u> 地域商業活性化事業</p> <p><u>○実施期間</u> H22</p>			新規追加					

<p>○事業名 中心市街地市民活動交流推進事業</p> <p>○内容 コミュニティ再生のための交流広場の設置を行う。</p> <p>○実施期間 H23～</p>	<p>沖縄市</p>	<p>○位置付け 中心市街地においてNPO等の市民活動の活動情報の提供、商店街等におけるコミュニティの再生を目的として「市民活動交流ひろば」を設置する。</p> <p>○必要性 市民活動を積極的に支援するとともにNPO間の連携及び市民へのNPOの情報を積極的に発信することにより、行政・市民・市民団体が協働によるまちづくりを推進し、中心市街地の活性化に寄与する事業として必要である。</p>	<p>○支援措置 緊急雇用創出事業（重点分野）</p> <p>○実施期間 H23</p>			<p>新規追加</p>					
<p>○事業名 クリエイター支援事業</p> <p>○内容 胡屋地区の空き店舗を活用したアーティスト、クリエイターの起業家を集積させる事業</p> <p>○実施期間 H22～H23</p>	<p>沖縄市</p>	<p>○位置付け 胡屋地区にある空き店舗の解消としてアーティスト・クリエイターの起業家を集積させることにより、人材の育成や商品開発、プロデュース、マネジメントを行うことで新たな産業育成を行うための事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 新たな産業育成を行うとともに人材発掘や人材育成を進めることにより中心市街地の空き店舗の解消と商店街の新たな魅力づくりとして必要な事業である。</p>	<p>○支援措置 緊急雇用創出事業（重点分野）</p> <p>○実施期間 H22～H23</p>			<p>新規追加</p>					

(4) 国の支援措置がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>○事業名 音楽によるまちづくり事業 (略)</p>	(略)	(略)	(略)	(略)

(4) 国の支援措置がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>○事業名 音楽によるまちづくり事業 (略)</p>	(略)	(略)	(略)	(略)

○事業名 沖縄国際アジア音楽祭推 進事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
○事業名 モグコザ準備室 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
(2) ①に移設				
○事業名 コザ歌舞団芸能公演事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
○事業名 こどもの国フェスティバ ル (略)	(略)	(略)	(略)	(略)

○事業名 沖縄国際アジア音楽祭推 進事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
○事業名 モグコザ準備室 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
○事業名 中心市街地活性化支援事業 ○内容 タウンマネージャーの導入 コザ講座(商人塾・創業塾) の開催 ○実施時期 H20～	沖縄市	○位置付け 商店街に不足している機能 として、活性化対策を展開・実 施・支援する人材があげられ る。そのような中、商店街の組 織力強化とともに店舗の個性 化。コンセプトの明確化を図り ながら活用・実践の場を伴う人 材育成につなげていく事業と して位置付けている。 ○必要性 中心商店街は、中小零細企業 が多く、商店街の経営基盤も脆 弱なものとなっていることから、市と商店街との調整役を担 うタウンマネージャーを導入 し、各商店街が抱える課題解決 に向けた指導助言を行うと共 に、戦略事業の展開・実施・支 援を行ない、商店街の賑わいづ くり、地域活性化のための人づ くりを実現する上で必要である。		
○事業名 コザ歌舞団芸能公演事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
○事業名 こどもの国フェスティバ ル (略)	(略)	(略)	(略)	(略)

<p>(2) ①に移設</p>					<p>○事業名 沖縄市戦後文化資料等展示事業</p> <p>○内容 資料展示、歴史・文化講座（講演会）、研究叢書の発刊等</p> <p>○実施時期 H17～</p>	<p>沖縄市</p>	<p>○位置付け コザ文化が凝縮したまちそのものの雰囲気資源として積極的に展開するために空き店舗を活用し、情報発信を行うことでまちの効果的な回遊性を図る事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 空き店舗を活用し設置した沖縄市戦後文化資料等展示室（ヒストリート）を中心に沖縄戦後文化の情報発信を行い、街なかへの誘客を図るとともに、本市の歴史や文化に関する市民の学習機会を拡充するものであり、街なかでのにぎわいづくり、人づくりを実現する上で必要である。</p>			
<p>(2) ①に移設</p>					<p>○事業名 こどものまち推進事業</p> <p>○内容 沖縄こども未来ゾーンを拠点とした、こどものまち推進事業</p> <p>○実施時期 <u>H20～H22</u></p>	<p>沖縄市</p>	<p>○位置付け こどもたちが元気に夢に向かってたくましく育つ環境をつくることを目的に、こどもを核とした施策を展開、こども文化を発信していくとともに、こどもたちを支える人材を育成し、こどものまちを推進していくための人材の活用・実践の場を創出する事業として位置付けられている。</p> <p>○必要性 こどもたちにやさしいまちづくりを進める上で、コミュニティ（地域力）の再生に取り組むために、事業の柱として、①「ネットワークづくり」、②「人づくり」、③「場づくり」を展開していくものであり、核家族化・都市化現象が進行するなかで、こどもたちを見守り育んでいく地域社会を構築していく上で必要である。 *市民との協働を重視しながら、沖縄こども未来ゾーンを拠点に、こどものまちを推進して</p>			

○事業名 IT人材育成事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)

8. 4から7までに掲げる事業及び措置と一体的に推進する事業に関する事項

[1] ~ [2] 略

(1) 略

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
○事業名 <u>駐車場誘導整備事業</u> ○内容 <u>駐車場に関する情報発信・案内板等の整備</u> ○実施時期 H23~H25	沖縄市	○位置付け <u>駐車場に関する情報発信・案内板等を整備することにより、まちの効果的な回遊性の確保を図るための事業として位置付けている。</u> ○必要性 <u>既存駐車場の利用向上を目的に、駐車場配置案内板や矢印案内板を設置し、来街者が利用しやすい駐車場案内を行うことで、誰もが居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。</u>	○支援措置 <u>社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業と一体の効果促進事業）</u> ○実施時期 H23~H25	
○事業名 <u>沖縄市中心市街地循環バス事業【*再掲】</u> ○内容 <u>ミュージックタウンとこどもの国、コザ運動公園の回遊性を高めるための循環バス事業</u>	沖縄市	○位置付け <u>中心市街地の中心拠点となる胡屋地区において、コザ運動公園、市民会館、こどもの国及びミュージックタウンを結ぶ交通機能として、循環バス有料化・無料化および運行主体の検討を含めた実証実験を行い、中心部の回遊性を高める事業として位置付ける。</u>	○支援措置 <u>社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業と一体の効果促進事業）</u> ○実施時期 H23~H26	

いく。
*こどものまち宣言については、沖縄市活性化100人委員会こどものまち宣言部会によって宣言草案が作成された。

○事業名 IT人材育成事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)

8. 4から7までに掲げる事業及び措置と一体的に推進する事業に関する事項

[1] ~ [2] 略

(1) 略

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<u>(2) ②から移設</u>				
新規追加【*再掲】				

<p><u>○実施時期</u> H23～</p>	<p><u>○必要性</u> 循環バスには、沖縄市の中心地の飲食店やライブハウスなどの情報提供及びこどもの国の琉球弧の動物の資料展示やエイサーバナーの展示など本市の持つ地域文化・芸能等の魅力を発信し、来街者・市民に対する情報発信機能と中心市街地への回遊性を誘導する事業として必要である。</p>
------------------------------	---

--	--	--	--	--

(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<u>(2) ①に移設</u>				

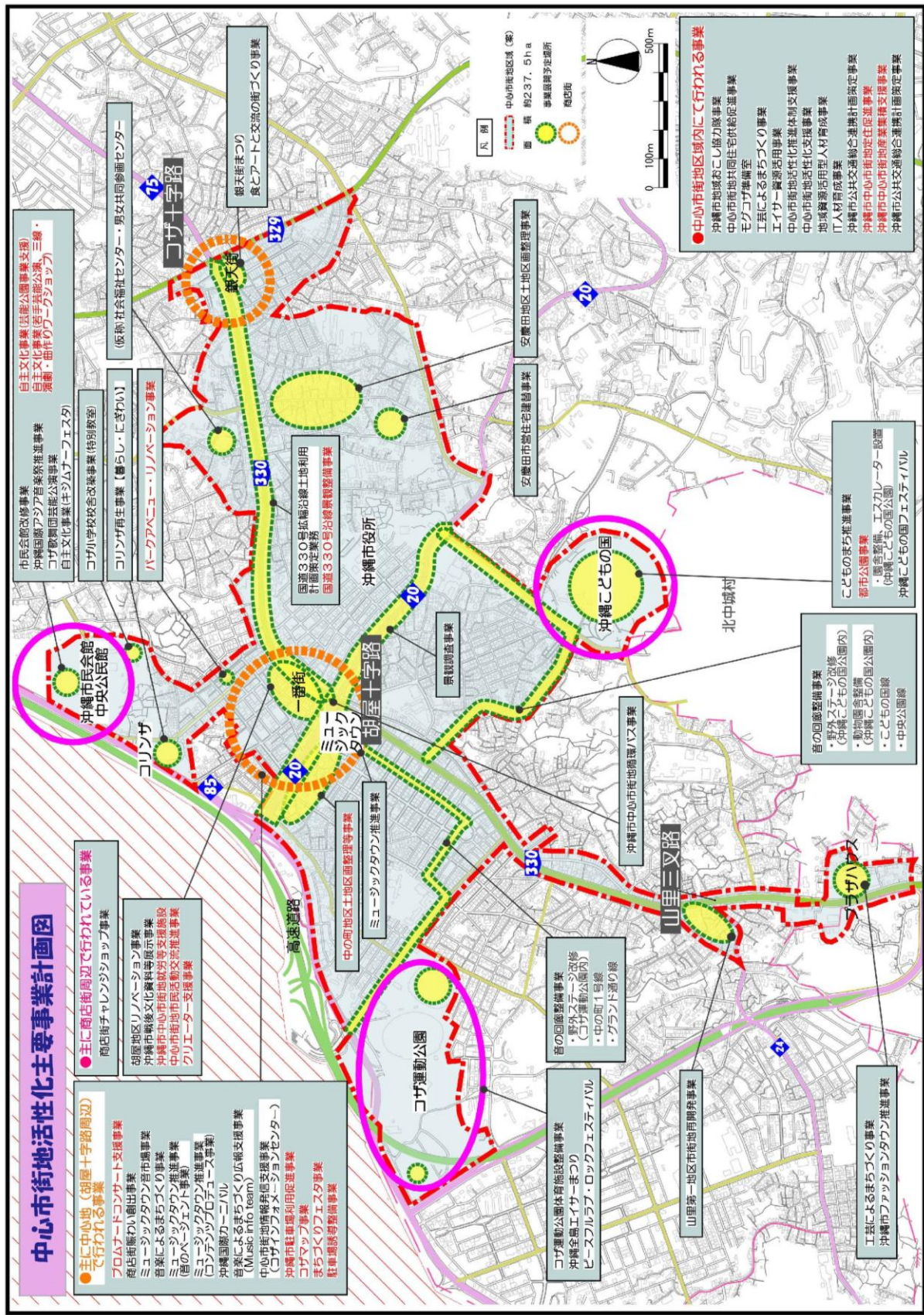
(3) 略
(4) 略

(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p><u>○事業名</u> 駐車場誘導システム整備事業</p> <p><u>○内容</u> 駐車場に関する情報発信・案内システム等の整備</p> <p><u>○実施時期</u> H23～H25</p>	沖縄市	<p><u>○位置付け</u> 駐車場に関する情報発信・案内システム等を整備することによりまちの効果的な回遊性の確保を図るための事業として位置付けている。</p> <p><u>○必要性</u> GPSなどを活用した案内板の設置や、インターネット等を活用して、既存駐車場の一体的な管理運営を図り、利用しやすさの向上及び稼働率向上を目指すものであり、誰もが居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。</p>	<p><u>○支援措置</u> 都市交通システム整備事業</p> <p><u>○実施時期</u> H23～H25</p>	

(3) 略
(4) 略

◇4から8までに掲げる事業及び措置の実施箇所



◇4から8までに掲げる事業及び措置の実施箇所

